

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	ツーリズム連携による地域農産物ファン創出事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	産業経済部	課等名	農業課		包含する細々目	1	6	1	3	22	5	320	
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり												
施策	13 地域内産業の多様な連携												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要	地域経済活性化プログラム2007						
		事業期間	18	年度～	20	年度							
												関連計画 条例等	

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	都市部の消費者(特に中京方面)	愛知県人口	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			7312000	7312000		
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	「南信州いいだ」の農畜産物のファンになってもらい継続購入してもらう	産地ツアーで来飯した都市部消費者	18目標	160	最終目標	
			18実績	220	19目標	320
			23目標	600	23実績	
			18目標		最終目標	
			18実績		19目標	
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋を中心とする中京圏等で本地域の農産物を販売している量販店等と提携して、店舗スタッフを対象にした産地研修ツアー及び消費者を対象にした産地体験ツアーを実施する。 消費者への食農教育とローハス(健康、環境に配慮したライフスタイル)支援をコンセプトに、作物収穫体験、加工体験、食体験、農作業体験等を組み合わせたプログラムを企画。 (株)南信州観光公社と連携した消費者ツアーを重ねることで、本地域の農畜産物に固有の価値を認め継続購入してもらえる消費者ファンをつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 産地側からの企画を提案し量販店関係者と懇談を実施 農作物収穫体験、料理体験等を組み合わせたツアーの実施 (株)南信州観光公社と連携し量販店関係スタッフ及び消費者対象の産地ツアーを企画・実施 実施後の参加者アンケートと提携量販店との意見交換を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ツアーの実施回数 消費モニター懇談会 	<ul style="list-style-type: none"> 4 2
		<ul style="list-style-type: none"> 流通販売事業者との懇談を通じて提携可能な量販店を拡大 作物収穫体験、加工体験、料理体験等を組み合わせたプログラムを立案 収穫体験だけではなく、春先の作業から収穫までの体験を企画していく (株)南信州観光公社と連携し量販店関係スタッフ及び消費者対象の産地ツアーを企画・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ツアーの実施回数 消費モニター懇談会 	8

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	240	320
	事業費計(A)	240	320
人件費	正規職員所要時間	18年度 130	19年度 80
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	465	286
	トータルコストA+B	705	606

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	多様な連携により新たな経済活動を創出する	海外チャレンジ事業による地場産品の新規商談成立商品数	現状値	13	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	2
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>・経済自立度アップのための地域経済活性化プログラム の具体化。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>・輸入農産物の増加、産地間競争の激化、流通構造 の変化、青果物消費量の減少等を背景に、農産物 価格の長期低迷が続いている。こうした状況に飲み 込まれない産地づくりには、従来の価格や品質とは 異なる価値観を消費者に提案できる地域独自の販 売戦略が必要になっている。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <p>産地ツアーは好評であった。しかし、ツアーを繰り返 すだけでは販売拡大の効果は難しい。南信州に消 費者を呼び込むような仕組み作りが必要。</p>
---	--	--

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	<p>この事業の意 図の達成が、結 果(上位目的) に結びついてい ますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由)</p> <p>消費者ファンをつくっていくことは、農産物販売額ひいては 農業生産額の拡大をもたらす、経済的自立度アップ、経済 力の強いまちづくりに結びつく。</p>	有効性 評価	<p>成果をさらに向 上させる余地は ありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 余地がある (その理由)</p>
	<p>対象の見直し、拡 大、縮小の必要 性はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)</p> <p>プロジェクトにおいても名古屋、中京圏の消費者に絞って いるため</p>		<p>廃止・休止した 場合の影響は ありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由)</p> <p>今後は産地力による経済格差が益々大きくなる時代に突 入し、農産物販売への自立的な戦略をもたない産地は生 き残れない。</p>
	<p>意図の見直し の必要性はあり ますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)</p> <p>「南信州いいだ」の農畜産物のファンになってもらい継続購 入してもらおうことが意図である</p>		<p>他に類似事業 はありますか？ また統合の可 能性はありませ うか(市以外の取 組も含む)</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 類似事業なし (類似事業名、理由)</p>
	<p>市が関与する 必要性はありま すか？(市が税 金を投入すべき 事業ですか)</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要ある (その理由)</p> <p>新たな可能性を見つけたための試行事業。量販店への プロモーションや、地域内の連携推進体制づくりのコー ディネート役として市が関与した事業推進が必要。</p>		<p>効率性 評価</p> <p>成果を下げず に、事業費や人 件費の削減は 可能ですか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 可能 (その理由)</p> <p>農業協同組合や関係団体が連携することで人件費削減に つながる</p>
			公平性 評価	<p>受益者は誰で すか？ また、負担の是 非、程度は妥当 ですか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (受益者とその理由)</p> <p>直接的には農業生産団体や提携量販店だが、最終的な受 益者は地域農業者</p>

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <input type="text" value="20"/> 年度</p> <p>↑ 具体化 ↓</p> <p>上記の改革改善案を 実施する際、想定され る課題とその克服方 法</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>・南信州いいだを知って貰うよう、観光を絡めたPRの実施 ・ホテル旅館等と連携し、宿泊プラン等に組み込む ・モニターとのかかわりを継続し、ファン層を作っていく仕組み作り。モニター負担がかからないような工夫。</p>
--	---

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本 計画推進委員会	